





STUDIO-Rio 1978.11/30 OP.-①

# あさひの唄

いづみあ

53年度、めでたく大学の卒業と就職も決定されたようです。本来は長目の短編をかく方ですが、今回は就職やなんかでおしく少々短めですが、卒業後も于ロンヌツプで活動してくいえるそうです。

## 絵魔

最近、原因はさだかではありませんが、氏は大變ハッピーだそうで、作品にもそのハッピーさが表われていくようです。このハッピーがいつまでも続きますように。

## なづな

「アーカディのライオン」「コニーアイランドの」に続く三部作の最終章「ピンクジラフ」が、クンパターと云われながらも完成しました。

## 築沢たかし

最近妹さんが、結婚されました。氏はその結婚式で「僕の妹に」を涙ながらに歌われたそうです。おめでとうさん。

## 山下

今回もまたみんなに迷惑をかけてしまったので、ひたすら自己嫌悪。向「猫ふんずけられちゃった」の主人公は本人自身ではないかといううわさです。

## 千原俊

このたび氏は、于ロンヌツプのかくれたブレイン叶氏とのたかれた生活に終止符をうち、一人ぐらしにもどられたそうです。これからは、さらに良い作品をたくさん書いてくれることでしょう。

## ぼんぼる女史

本誌初登場の第2の女流作家です。今回の作品の主人公「リーマ」は彼女の

夢の産物だそうです。彼女はこんな夢をみるのじょうか。なお、これは余談ですが、彼女は剣道初段で大変な酒豪であるそうです。

### 岬とまゆ

遅れてくる原稿を毎回キチンと読んで作品にぴったりに合ったカットをメッキリに遅れず必ず、仕上げてくれる人です。その手からは、まるで魔術のようにキヤラクターがふし出てきます。なお、これまた余談ですが、最近氏はごりっばなヒゲをのばしています。

### 三鬼亮輔

氏は初登場ですが、于ロンヌツプのみならずとはもうおなじみです。特に岬氏、ゆらべ氏とは中学からの同窓生です。また岬氏と「ばんぶきん」なるマンガ同人誌の同人であり、某大学のマンガ研にも所属していらっしやいました。



### ゆらべとまゆ

どえらいスランプにおちいり毎日、ウーウーなっています。夜の寒ーい公園で極限状態に追い込んで、ヤコとひねり出しました。ゴメンしてエ。

### 寛巻

今回は原作者として登場してもらいました。彼はアロ用のフィルムを使う、自称アロ写真家で女の子ばかりとっているんです。

### 叶あきこ

于ロンヌツプに喰いつく外ニのような役立たずアレーン。猫を4匹飼っている。わが子の様に大事にしている。



**バクナジバーの案内**

第一号 二百円  
 第二号 百五十円  
 第三号 二百円

送料は一冊... 百五十円  
 二冊... 二百円  
 三冊... 二百円

〒14 神奈川県川崎市多摩区  
 生田 206 菅野荘  
 柴田方  
 于ロンヌツプ 童話工房  
 エメールご希望は

# オマセツト

ついで、オマセツトがオマセツト版として発刊されました。これはオマセツトが創刊からの願望であり、編集長としては高松一年からの夢が、五年過ぎた今実現されたのではありません。最近、同人誌が乱れ出て、「猫も杓子も」オマセツトです。

初版で刷ったのは増えたい出さずと信じられぬことですが、なかなか筆が進まなかったのですが、オマセツトも緊張して、刊となりました。「猫も杓子も」の仲間入りは少し抵抗はありましたが、

オマセツトの原稿は編集部で清書され、編集をしてやるのです。これは分担されています。それと比べて、オマセツトは存在である。おんくんの仕事は全作品におよび量的にも一番多い。質的にも他人の作品にオマセツトをつけるという難しさを一番苦労しているのだらうと思います。だから、編集部としては、オマセツト化を願うのは一番喜んでもらいたいと思えます。

優しいおなか様へ

## オマセツト IV号

昭和33年12月17日 第二刷

発行所 オマセツト 童話五房

発行人 中野 実子  
印刷所 オマセツト印刷

(Oma) (Senta) (Oma) (Senta)

カマエ  
表紙 山甲 (Yama) (Kamae)



チロウヌツア童話工房

SF研 備品